

令和6年度第1回滑川市総合教育会議会議録

1 開催日時 令和6年11月29日（金） 午前10時30分～

2 開催場所 市役所東別館3階 大会議室

3 出席者氏名

市長	水野 達夫
教育長職務代理者	金谷 潤子
教育委員	平田 均
教育委員	水口 明博
教育長	上田 良美
（事務局）	
総務部長	石川 久勝
教育委員会事務局長	上田 博之
教育総務課長	山谷 大有
生涯学習・スポーツ課長	相沢 卓巳
子育て応援課長	牧田 優子
教育センター所長	海見 純
教育総務課長補佐	鏑木 知子
教育総務課係長	蜷川 博之

4 会議日程

1 市長あいさつ

2 協議事項

日程第1 教育大綱の進捗状況について

日程第2 学校における働き方改革への取組と働き方の現状について

日程第3 不登校児童生徒の状況について

日程第4 なめりかわ未来学校について

5 会議の要旨

上田局長	それでは、これより令和6年度第1回滑川市総合教育会議を開催する。 最初に、水野市長に挨拶をお願いする。
水野市長	(あいさつ)
上田局長	会議の進行については、滑川市総合教育会議設置要綱第4条の規定に基づき、 市長が議長となることとなっているのでお願いする。
水野市長	それでは、「日程第1 教育大綱の進捗状況について」事務局から説明願う。
山谷課長 相沢課長 牧田課長	(教育大綱の進捗状況について説明)
水野市長	ご意見等があれば。
水口委員	資料1に教育大綱の進捗状況について記載してあるが、施策と計画が見えてこ ないので、内容について教えてほしい。
上田局長	本大綱については、令和3年度から7年度までの5年間を対象期間とした教育 委員会の重点施策を推進するためのものであり、各事業の令和7年度の目標値 について記載してある。
水口委員	5年間の計画の中で事業を進めていくということか。今年度は4年目で、計画 の最終段階に差し掛かっているということでしょうか。また、基本方針につ いては、令和3年度から変更はなく、それに向けて事業を進めていくのか。
上田局長	計画の期間内において、年に1回程度、教育委員の皆さんのご意見等を伺い、 修正等を行いながら事業を実施しているものである。
石川部長	別添の資料として「滑川市教育大綱」を配付しているので、内容についてご確 認願いたい。資料1は、令和6年度の9月末時点での各事業の進捗状況につ いて記載したものである。この資料に対して委員の皆さんのご意見等をいた だき、次年度以降の事業の実施に活かしていくこととしている。
水野市長	資料の右端に目標に対する実績の進捗率や達成率を記載したらよいのではない か。その方が一目で見て、分かりやすいと思う。
平田委員	概ね事業は順調に進捗していると思う。課題の解決に向けて、しっかりと事務 を進めてほしい。 p.3の「育ちの支援・引継ぎシート」について、提出は任意だと思うが全員から 提出してもらうのは難しいのか。
牧田課長	その通りである。提出する際は、保護者の同意が必要である。令和4年度に全

	保護者に意向調査を実施したところ、想定以上の返信があり、保育園が混乱した。そこで、令和5年度は必要と思われる児童にのみ案内したところ返信数が減ったが、気になる児童の分については、概ね提出されている。
平田委員	こども家庭センターの設置後、相談件数が従前の約1.3倍となったとのことだが、相談の内容についてはどのようなものが多いのか。
牧田課長	こども家庭センターの設置について各小・中学校長に周知したところ、これまで以上に小・中学校からの情報提供が多くなった。これが件数増加の要因の一つだと考える。相談の内容については、ネグレクト、家庭状況の支援等があるが、ことばの遅れによる発達相談が最も多い。ことばの発達が心配だという切り口で相談を持ちかけると、保護者に受容されやすく相談につながりやすい。個々の案件について解決するのは難しい面があるが、保健師、保育士、社会福祉士、言語聴覚士等の専門職を配置することにより、多面的な方向から支援を実施している。また、巡回支援専門員として元特別支援学校の教職員を配置しており、子どもの発達面について専門的な知識をもって対応している。
平田委員	切れ目のない子育ての支援について、今後も続けてほしい。
金谷教育長 職務代理者	「育ちの支援・引継ぎシート」についてはよい取り組みであると思う。学校において養護教諭の役割は大きく、学校内での連携がされていると思うが、「育ちの支援・引継ぎシート」の内容を共通理解されているか。
上田教育長	養護教諭はケース会議等にも出席しているので、大丈夫であると思う。
金谷教育長 職務代理者	p.1の滑川中学校グラウンド改修工事については、いつ完成するのか。
山谷課長	令和7年3月に完成する予定であるが、中学校での体育の授業については、体育館で行っているため、大きな影響はない。
金谷教育長 職務代理者	屋外で実施する部活動はどこで行っているのか。
山谷課長	屋外で実施する部活動については、市の所管施設等で実施している。例えばサッカー部は、隣接する日医工にある人工芝のグラウンドで実施している。
金谷教育長 職務代理者	教育大綱に令和7年度から実施する予定のコミュニティ・スクールに関する内容を記載したらどうか。
上田局長	この教育大綱については、令和2年度に策定したためコミュニティ・スクールに関する記載がされていないものであり、記載については検討させてほしい。
金谷教育長 職務代理者	私自身、福祉に関わっているが、1人暮らしの方や高齢者の生活が大変な現状を頭の中に入れておかないといけない。ご近所の力が弱いと思うので、強化していかないといけないと思う。

水野市長	「近助」の大切さを若い世代にもしっかりと伝えていかないといけないと思う。防災教育を子どもたちにも少しずつ伝えていくことが必要である。
水野市長	続いて、「日程第2 学校における働き方改革への取組と働き方の現状について」事務局から説明願う。
山谷課長	(学校における働き方改革への取組と働き方の現状について説明)
水野市長	時間の関係もあるので、続けて「日程第3 不登校児童生徒の状況について」事務局から説明願う。
山谷課長	(不登校児童生徒の状況について説明)
水野市長	ご意見等があれば。
平田委員	資料2について、超過勤務時間数に改善が見られる。先生方の意識も変わってきているのではないか。学校で個々の教員の心身の健康状態をしっかりと把握し、アドバイス等をしてほしいと思う。 資料3、校内教育支援センターについて、不登校の児童生徒への支援はさらに一歩前進するものと思う。あゆみ教室、フリースクール、オンラインなめりかわ塾等、これからも対応をお願いしたいが、どこにも行けない子どもたちが気になる。子どもたちは人間関係で悩んでいるのかもしれない。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の見守りで子どもが孤立しないようにお願いしたい。
金谷教育長 職務代理者	資料1のストレスチェックの受検率が昨年度よりも高くなっていたが、長時間勤務との相関関係等の分析はしているのか。
山谷課長	ストレスチェックには、多くの教職員から「長時間勤務をしたくない」と回答があった。主に部活動や保護者対応等に苦慮しているとのことである。
金谷教育長 職務代理者	書類整備に時間がかかり、処理が大変そうであるので、そういったところへの配慮についてもお願いしたい。
水口委員	教職員の勤務時間はどのようになっているのか。
山谷課長	学校によって多少前後するが、中学校については8時15分から12時15分までが午前中の勤務、12時15分から休憩だが、給食指導、掃除があるので45分間の休憩時間があるものの、実際は取れていない。
上田教育長	小学校については8時15分から16時45分まで勤務し、その間で1時間の休憩を取る事となっているが、給食指導があるため、児童が帰宅した放課後に休憩を取っている。
水口委員	目に見えない労働時間は資料の超過勤務時間に含めているのか。
山谷課長	含まれている。

水口委員	時間外労働時間はどれくらいになるのか。
山谷課長	一日の勤務時間の総合計から7時間45分を引いた時間を超過勤務時間として計上している。
水野市長	続いて、「日程第4　なめりかわ未来学校について」事務局から説明願う。
相沢課長	（なめりかわ未来学校について説明）
水野市長	ご意見等があれば。 （なし）
水野市長	皆さんご多用のところ、貴重なご意見をいただいた。これで本日の令和6年度第1回滑川市総合教育会議を閉会する。

（終了　午前11時52分）